

会社沿革

HISTORY

- | | | | |
|-----------|--|------|--|
| 1950 | 初代 奥山寿夫が大阪市天王寺区味原町に板ガラス加工工場まねき屋商店を創業 | 2002 | セントラル硝子株式会社と建築用合わせガラスのOEM契約 |
| 1952 | 資本金50万円をもって、有限会社まねきや商店と改称
鏡台用鏡、自動車用ガラスおよび曲面ガラス等の取扱いを開始 | 2003 | セントラル硝子株式会社と防犯合わせガラスのOEM契約 |
| 1957 | 資本金200万円をもって、まねきや硝子工業株式会社を設立
米国より最新鋭の加工機を購入し、多角的ガラス加工工場とする | 2005 | 多気硝子株式会社を合併し、多気工場とする
資本金7,000万円に増資 |
| 1960-1964 | 旭硝子株式会社塚口工場内にて自動車用ガラスの加工を行う
日本板硝子株式会社の輸出用ガラスの加工を行う | 2006 | 伊賀工場増設 |
| 1963 | 東大阪市吉原に東大阪工場を建設し、急増する自動車用ガラスの加工に対処するとともに、総合加工工場として操業を開始
資本金600万円に増資 | 2010 | 伊賀工場に強化ガラス電気炉を設置 |
| 1964 | セントラル硝子株式会社と加工請負契約成立。同社の堺工場、松阪工場に技術者を派遣しガラス切断作業、大型板ガラスの研磨加工を開始
まねきや商事株式会社を姉妹会社として設立し、ガラス加工機器を製作販売
セントラル硝子株式会社と板ガラス販売に関し特約店契約成立 | 2013 | 伊賀工場新北棟を建設し、複層ガラス設備を設置 |
| 1967 | 東大阪工場を増改築し、ガラス専用倉庫を建設。セントラル硝子株式会社東大阪倉庫として操業を開始
まねきや硝子工業株式会社とまねきや商事株式会社を合併し、まねきや硝子株式会社と改称 | 2014 | 資本金8,000万円に増資
伊賀工場事務所を新築 |
| 1970 | 三重県多気郡多気町に多気硝子株式会社を設立。セントラル硝子株式会社の自動車用ガラスの加工を行う | 2017 | 伊賀工場新北棟を増設
東京支店を調布市に再開設 |
| 1976 | 一宮市島崎に名古屋工場を設立し、産業用、食器用、建築用のガラス加工を開始
資本金1,000万円に増資
松坂市彌師町に鉄工部を新設し、ガラス加工機器の製造販売ならびに修理改造の専門工場として発足 | 2019 | 伊賀工場に大型強化ガラス電気炉を増設 |
| 1978 | 第14期決算において、セントラル硝子株式会社特約店129社中売上高第一位を確保 | 2020 | 伊賀工場南棟を増築
伊賀工場で強化ドア製造開始 |
| 1981 | 株式会社関西板硝子センターの東大阪市水走転出に伴い、同地にセンター加工部工場を新設し、同社の厚板ガラスの専属加工工場として操業を開始 | 2021 | セントラル硝子販売株式会社より中部支社 建材営業部の5拠点(名古屋支店、岐阜支店、静岡支店、静岡支店浜松営業所、富士支店)を事業譲受する
東日本統括本部を新設し、それぞれ名古屋西支店、岐阜支店、静岡支店、静岡支店浜松営業所、富士支店として編入
同時にセントラル硝子プラントサービス株式会社(CGPS)の松阪加工部より、静岡製造所の事業を譲受し、静岡支店に統合
福岡事務所を開設
静岡支店を焼津市に移転、切断加工を開始 |
| 1983 | 現所在地に本社ビルの新築工事完成 | 2022 | 横浜支店を開設
静岡工場でスルガベア製造開始 |
| 1985 | 三重県阿山郡伊賀町(現・伊賀市)に伊賀工場を設立し、建築用、産業用ガラス、装飾用のガラス曲げ加工を開始
高槻市に高槻営業所を新設し、北摂方面の営業の拠点として発足 | 2023 | 東京支店を移転、横浜支店に統合 |
| 1987 | 資本金2,000万円に増資 | 2024 | 売上高115億4,700万円達成 |
| 1989 | 東京都新宿区に東京営業所を新設し、関東地区の営業拡販の拠点として発足 | | |
| 1990 | 資本金3,000万円に増資 | | |
| 1991 | 資本金4,000万円に増資 | | |
| 1992 | 資本金5,000万円に増資
三重県阿山郡伊賀町の伊賀工場を増設し、合わせガラス加工の操業開始 | | |
| 1993 | 資本金6,000万円に増資 | | |
| 1995 | 伊賀工場において、株式会社PPG-CIカッティングセンター操業開始
東京営業所を東京都調布市に移設し、東京支店として発足
伊賀工場において、合わせガラスJIS認可(第495009号)合わせガラス加工、販売開始 | | |

エントリー詳細は、大学共同参加 求人受付NAVIまたは、まねきや硝子求人専用サイト（近日公開）からもご覧いただけます。

 まねきや硝子株式会社 本社 〒578-0904 大阪府東大阪市吉原2丁目1-13 TEL：072(963)6061 FAX：072(963)4936

- | | | | |
|--------|--------------------------------------|------------------|------------------|
| 営業部 | 〒578-0904 大阪府東大阪市吉原2丁目1-13 | TEL：072(963)6061 | FAX：072(963)4936 |
| 開発部 | 〒578-0904 大阪府東大阪市吉原2丁目1-13 | TEL：072(963)7413 | FAX：072(965)1980 |
| 名古屋支店 | 〒491-0834 愛知県一宮市島崎1丁目11-17 | TEL：0586(77)6626 | FAX：0586(77)9451 |
| 伊賀工場 | 〒519-1424 三重県伊賀市川東267 | TEL：0595(45)5141 | FAX：0595(45)5143 |
| 横浜支店 | 〒234-0054 神奈川県横浜市港南区港南台7-50 | TEL：045(349)8186 | FAX：045(349)8191 |
| 富士支店 | 〒416-0934 静岡県浜松市中央区将監町32-4 | TEL：0545(63)8511 | FAX：0545(63)8513 |
| 静岡支店 | 〒425-0004 静岡県焼津市坂本301 | TEL：054(621)3010 | FAX：054(621)3020 |
| 浜松支店 | 〒430-0802 静岡県浜松市中央区将監町32-4 | TEL：053(462)1548 | FAX：053(462)1591 |
| 岐阜支店 | 〒500-8225 岐阜県岐阜市岩地3丁目5-3 | TEL：058(245)0161 | FAX：058(247)5208 |
| 名古屋西支店 | 〒454-0977 愛知県名古屋市中川区千音寺4丁目2703 | TEL：052(431)5001 | FAX：052(431)9722 |
| 福岡事務所 | 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP博多ビル3F | TEL：092(686)8784 | FAX：092(686)8761 |

2026年入社 求人のお問い合わせ
採用担当メールアドレス/saiyou-manekiya@manekiya.jp
郵送先/〒578-0904 大阪府東大阪市吉原2丁目1-13
まねきや硝子株式会社 管理本部 採用担当
TEL：072(963)6072 FAX：072(963)9333

実際の製造現場の様子を知っていただくために、各拠点にて「会社見学」「製造現場動画」等ご用意しております。お気軽にお問い合わせください。

大阪・三重・愛知・静岡・神奈川・岐阜・福岡エリア

ガラス二次加工メーカー まねきや硝子株式会社

2026年3月卒
2026年4月入社 求人案内

ワークライフバランスを重視した
これからの人生も引き続き
個が大切、家族が大切

年間休日 **123**日
※2025年4月より年間休日122日から改定

- ✓ 転勤の有無が
選択できる総合職
- ✓ 家族や環境を重んじた
福利厚生が充実
- ✓ 学んだ専門知識が
生きる製造の仕事

 まねきや硝子株式会社



2026 年卒
募集職種
RECRUIT

各職種 1名～5名採用予定
拠点の希望はエントリー時にお伺いします

会社概要
COMPANY DATA

Table with 2 columns: 社名, 代表者, 創業, 創立, 資本金, 社員数, 売上高, 事業内容, 主な仕入先, 主な販売先, 取引銀行. Content includes company name 'まねきや硝子株式会社', founder '代表取締役 奥山喜茂', and various business details.

総合職(転勤あり)
勤務地・職種をはじめから決定せず、可能な限り多くの拠点と職種を経験していただき、適性に応じて職種を決定します
給与例 235,500 円 (基本給22万+住宅手当・家族手当の上限)

エリア限定総合職(エリア採用・転勤なし)
希望の各拠点限定での総合職採用ですが、働き方に応じて転勤ありの総合職へキャリア変更も可能です
給与例 215,500 円 (基本給20万+住宅手当・家族手当の上限)

品質管理職(製品開発を除く生産・品質管理等のマネジメント職)
製品のクオリティに関わる仕事やJIS認証の更新、社外・社内製品監査に関わります。またQC検定等の資格取得のための制度も充実しています
給与例 215,500 円 (基本給20万+住宅手当・家族手当の上限)

工務職(現場にて受発注の工程等を調整する現場管理職)
各拠点にて受発注時の工程作成、営業補助等、現場管理をする仕事です
給与例 235,500 円 (基本給22万+住宅手当・家族手当の上限)

一般職(主に総務、経理他事務、営業補助職)
各拠点にて、総務・事務、営業活動の補助を行います
給与例 195,500 円 (基本給18万+住宅手当・家族手当の上限)

社内システム企画職(社内システムの運用・保守・管理)
社内情報システムの運用・保守・管理を行います。システム開発は行いませんが外注システム会社とのやり取りがあります
給与例 215,500 円 (基本給20万+住宅手当・家族手当の上限)

共通事項
※2026年4月入社対象
勤務時間 / 8:30～17:30
休日 / 年間123日(土日・祝、GW、夏季休業、年末年始)
福利厚生 / 社会保険完備、公共交通機関交通費全額支給、マイカー通勤制度、住宅手当(5,000円～10,000円)、家族手当(上限5,500円)、産休・育休制度、退職金制度(勤続3年以上)

充実した福利厚生が自慢です！

選考の流れ
①【アクション】一斉会社説明会は日程未定のため、まずは個別で弊社採用担当に、説明会・工場見学希望日をお聞かせください！
②【説明会・見学会、同時開催一次面接】一斉説明会や弊社各拠点での説明会、工場見学にお越しいただく日程調整をさせていただきます。
③【最終選考】一次面接選考後次のステップに進まれた方に、筆記試験・最終面接日のご案内をします。
④【可否】最終面接後、1週間以内に内定可否のお知らせをいたします。

説明会限定、国内最大級・伊賀工場の「製造現場動画」もお楽しみに！
採用担当者より
この仕事の面白さとは？
答えが出るまで伴走します
ぜひ学生のみなさんには「自分は〇〇職しかできない」、「〇〇には向いていない」と思い込まずに、「どんな仕事もまずやってみる」という「心の余白」を持っていただきたいと思っています。

まねきや硝子株式会社とは
GREETING

「We are all connected. 80億人のために何ができるか。350人と共に」を合言葉に、大規模な編成・働き方改革を経て人を幸せにする企業として成長し続けています。

まねきや硝子のスタッフは、自社製品がたくさんの人々の生活を支える一部であることに責任を持ち、

思わず製品の隅に刻印された会社名のクレジットを探してしまいます。メーカーであることに誇りをもつ社会人になりませんか。



エンブルタワー七間町



ラグーナハイコート倶楽部



京都ポルタ



大阪駅



TKPゲートタワービル



高松シンボルタワー



阿久比町庁舎



東京商工リサーチ取材の様子
2023年度・2024年度連続で優良企業上位8%に選ばれています

例えば、どんなものを作っているのか
命と財産を守る。安心・安全を託す防犯ガラス



MG防犯はすぐれた特長を持つ、まねきや硝子オリジナル製品。ガラスとガラスの間に中間膜を挟み込む「合わせガラス」の技術を使い、特殊樹脂膜を加熱圧着することで実現した防犯ガラスです。

用途
住居・大型商業施設
教育機関・公共交通機関等
MG防犯90
特殊樹脂膜2.3mm

まだまだあるMGシリーズ
まねきや硝子オリジナル

MGラミ(合わせガラス)
ガラスとガラスの間に中間膜を加熱圧着させ、防犯性能や意匠性を向上させたガラス

MGテンパ(強化ガラス)
衝撃に強いことが必須の建材で、学校などの公共施設に使用されることが多いガラス

MGベア(複層ガラス)
中間層に乾燥剤やガスを注入し、おもに断熱・遮熱性能を向上させたガラス

MGミラー
浴室や洗面所、エレベーター等のガラスで小口を防湿加工した防湿ミラーがある

全国10拠点 信頼のネットワーク



Special Interview

まねきや硝子を支える管理職が伝えたい企業の意識とはなんでしょうか。いままでどんなストーリーがあって、どんなことを願っているのでしょうか。



まねきや硝子株式会社 統括部長

いつの時代も若手は「経験」がテーマ「経験」をどう活かすかの「伝え方」を全上司がいつも考えている環境がある



まねきや硝子株式会社 管理本部長

大量生産、薄利多売からの脱却働き方を変えるためのビジョンは、商品価値も現場の士気も上げた

まねきや硝子株式会社 管理本部(以下、聞き手)：
統括部長は、まねきや硝子全拠点の統括として、近年「若手の育成」において高い評価を得ています。その育成手法は、かつて直属の部下であった管理職たちにも影響を与え、若手を支える重要な要素となっています。統括部長が特に意識している点について教えてください。

統括部長(以下、統括)：
「若手のうちの日常の失敗は、経験でしかない」という考え方、そして「その経験をどうリカバリーするか」を上司・先輩は自らの経験をもってどう伝えていくのかを意識した環境づくりを徹底しています。

聞き手：
具体的にどんなことがそれにあたりますか。

統括：
ある若手スタッフが、お客様との会話が続き「無言が怖い」と相談してきたとします。まねきや硝子の上司や先輩は、「話題がないので、今日はこれで失礼します」と正直に伝えることを提案するでしょう。このような発言に対して、お客様が怒るのではないかと心配になるかもしれませんが、実際にはそうではありません。「わかったよ。じゃあまた、話に来て」と返して下さることを経験で知っており、次のステップへとつながることを伝えるのです。

一方で、こうした経験を若手も共有できず、上司も若手の気持ちを汲み取れない環境では、「お客様のところへ行きたくない」という気持ちが芽生えてしまいます。そしてどんどん萎縮していく。したがって、重要なのは周りが失敗の経験を歓迎する育成です。さまざまな視点から危機を回避する方法を学ぶことで、物の見方が変わります。私たちは、実際の経験を通じて「学ぶ力」を身につけてもらうことを重視しており、これが育成の一環であると考えています。

聞き手：
自身のキャリアを振り返り、やがてまねきや硝子を背負っていく若手にはどんなメッセージがありますか。

統括：
今の時代は私たちの若手の頃と比べて圧倒的に情報量が多く、みなさんも物をよく知っているし非常に優秀です。だからこそ、「経験」こそがポイントであると感じています。やはり「日常の失敗は、経験でしかない」というマインドです。若い世代にとって、その経験は前に進む勇気となり、将来的に誰かの上司になった時に、自身のキャリアを支える力となります。

よく「統括部長はなぜ営業せずにお客様から受注があるのか」と聞かれますが、それは私が20代や30代の頃、日常の失敗を経験やチャンスと捉えて行動してきたからです。経験を社内で上下問わず共有することで、自分と自社製品に自信を持てるようになり、やがてそれがお客様からの信頼に変わり何年経っても声をかけられるんだと思います。

「10年後こうなっていたい、20年後こうなっていたい」というビジョンを持ち、そのために今の経験を大切にマインドを強く持ってほしいと思います。そのために上司や先輩がいることをこれからも伝えていきたいと考えています。

まねきや硝子株式会社 管理本部(以下、聞き手)：
管理本部長は、まねきや硝子の働き方改革や働く環境づくりに取り組んでいます。年間休日117日から122日(2025年4月より123日に変更)の実現は製造業において画期的ですが、どのようなストーリーがあったのでしょうか。

管理本部長(以下、本部長)：
弊社代表の世代交代を機に、新たな価値を創造し、お客様はもちろんのこと、スタッフにも変わらず愛される企業であり続けるために動き始めました。長らく続いた価値観や働き方、意識を変えるのは簡単ではないものですが、新しいアイデアを積極的に取り入れるイノベティブな経営陣の後押しにより迅速な働き方改革が進んでいます。

元来製造業は、機械への投資を回収するために大量生産し、薄利多売で一日でも早く商品売ることが重視されてきました。そのため、年間休日120日を超えることは高い壁だったのです。しかし、まねきや硝子はその考え方に疑問を持ち、良い品を商品の価値にふさわしい適正な価格で購入していただくビジョンを明確にすることで、高付加価値商品と効率化を重んじ、「機械を稼働させるための製造」という発想から脱却しました。

聞き手：
スタッフからは「管理本部長が工程の効率化を推進する姿を間近で見ることがモチベーションを高く維持することにつながった」という声を聞きます。

本部長：
私は、同業他社での修行を経た上でのまねきや硝子への入社ではありませんでしたが、1年目から「働き方改革」を行えるほど信頼関係もなかったはずですが、繁忙期などは、積極的にコミュニケーションをとってスタッフの意見を聞く私は迷感だったとさえ思います。しかし、それでも10年後20年後の未来のためだと自身を鼓舞し、経営陣に環境を整えてもらい、現場の声を聞くことに奔走した3年でした。幸い、全スタッフが職種垣根を越えて率直な意見を聞かせてくれました。そして最終的には製造現場のたくさんのスタッフの腕を信頼し、創意工夫の知恵を借りて実現したのが年間休日122日です。2025年4月からは123日にさらに増えました。

聞き手：
122日への過渡期を経験したスタッフからは、「数字上は5日の増加だが、体感はその以上の恩恵があった」との声もあります。

本部長：
年間休日120日を切っていた時は、祝日の日数だけ土曜が稼働日でした。しかし、毎週必ず土曜が休日であるという事実は、プライベートの予定に大きな恩恵をもたらしました。安定したプライベートは、働く現場の安全・安心につながったと思います。

聞き手：
今後もこのような取り組みは続きますか？

本部長：
もちろん続けます。男女や年齢問わず、子育てや介護、家族の意識の変化などライフステージに柔軟に対応できる社内制度を細かくもっと整備することで、安心してキャリアを続けてもらえると考えています。それが10年後、20年後のまねきや硝子のさらなる飛躍につながると手応えを感じています。



営業部 入社3年目

一度社会に出て、
雰囲気の大切さを痛感
丁寧に育てられていると実感します

私は医療事務の専門学校を卒業後、社会人としての経験を積みました。退職の際、先にまねきや硝子に勤めていた小学校来の友人から「営業部で働こう！」と誘われたことが入社へのきっかけです。社会人経験を通じて職場の雰囲気の重要性を実感していたため、友人の勧めにこの業界に飛び込もうと決意しました。

現在、営業部で大型ショッピングセンターの内装工事に関わる業務を担当しています。支店長含め上司は男性2名で、友人の紹介通り、人間関係にストレスのない明るい雰囲気の中で育成されています。特に支店長は職場の雰囲気を明るく保つために率先して行動しており、ベテランの上司も年齢に関係なく丁寧に接してくれます。「ありがとう」と「ごめんなさい」が自然に交わる社内で、みなさんをとても尊敬しています。

学生のみなさんにお伝えしたいことは、視野に入っていないけれどもさまざまな偶然が重なり知り得た企業なら積極的に情報収集していただきたいということです。その中で、自分に向いている職種が不安に思っても、自分がどうこれから変わっていくかを楽しむ気持ちで取り組んでいただきたいと思います。私のように学生時代の専門性や前職とは違う業界であっても、「働くうえで最も大切にしていることはなにか」という心の声に耳を傾けていただきたいと思います。

たくさんの企業を見る機会は
就活の今だけ。そんな風楽しんで
まねきや硝子に出会いました

大学で行われた企業説明会でまねきや硝子と出会い、実際に話を聞く中でその雰囲気に惹かれました。興味を持った私は、工場見学と会社説明会に申し込みましたが、その際も大学の説明会で感じた社内の雰囲気や社員の方々の温かさが変わらず印象に残り、入社を決め手となりました。

現在、私は事務職として、営業や工務からの発注依頼を受け、工場の製造部と納期を確認しながらスケジュールに応じて業務を進めています。入社して一年目の私にとっては、まだまだ分からないことが多いですが、年齢や経験に関係なく、周囲のみなさんが本当に優しく教えてくれます。「報・連・相」がしやすい環境が整っているため、日々の業務において本当に助けられています。

学生の皆さんには、就職活動が思うように進まなかったり、苦勞を感じたりすることもあるかもしれませんが、この時期に多くの企業の説明会や見学に参加できる貴重な機会を楽しんでほしいと思います。私自身、事務職を希望して就活を進めていたのですが、行きたい業界が明確ではなかったため、職場の雰囲気を重視していました。何か一つ、自分の軸を決めておくことが、就活を進める上で非常に有益だと感じています。自分に合った職場環境を見つけるために、ぜひ積極的に活動してみてください。



営業部 入社1年目

みなさんの先輩は、いったいどんな風にまねきや硝子と出会い、
ここでの仕事や環境をどのように捉えているのでしょうか。